

アイダホ州：小麦作柄と気象状

2002年8月27日

州北部に於いて収穫の最終段階にある冬小麦が降雨に見舞われた。一部農家は発芽粒の発生を心配している。8月25日現在北部地区の冬小麦の収穫は80%で完了、春小麦の収穫は45%完了した。季節外れの降水は未収穫の小麦にとっては問題であるが、2003年産冬小麦の播種にとっては有効な降水と言える。但し、降水量は土壌水分を改善するほどの量ではなかった。Lewiston市で0.54インチと報告されている。州平均の農作業可能日数は6.5日であった。

8月1日付けUSDAの冬小麦生産予想では7月1日と変わらず、75.0ブッシェル/エーカー（昨年：73.0ブッシェル）となっている。収穫面積予想は690,000エーカー（昨年：710,000エーカー）、収穫予想量は51,750千ブッシェル（昨年：51,830千Bu）である。

2002年8月25日現在

土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	23	46	31	0
Last week (%)	22	47	31	0

灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	8	24	46	26	0

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring wheat (%)	1	8	20	59	12

小麦進捗状況：

	This week	Last week	2001	Ave.
Winter wheat harvested (%)	87	70	90	81
Spring wheat harvested (%)	62	29	59	55

*turning : turning color

Source : Idaho Agricultural Statistics Service